

今後の検討課題について

1 豊洲新市場の目標取扱量の設定について

豊洲新市場における目標取扱量については、以下の推計方式により検討してきたが、今後広く学識経験者などの知見を取り入れ設定する。

【推計方法】

食糧需給表に基づく市場経由率に市場外流通の動向を加味する
市場流通と市場外流通との相関関係などについて回帰分析する
市場における電子商取引の増加の見込みなども考慮する

2 主要施設の規模について

主要施設の規模については、上記により設定した目標取扱量を踏まえ、物流の効率化、多目的利用の導入などを勘案し多角的に検討する。

3 付加価値施設の規模について

付加価値機能のあり方や整備の基本的方向を踏まえ、適正な施設規模を多角的に検討する。